令和5年度下半期 瑞穂町下水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和5年度の汚水処理の状況は下半期の処理水量が1,797,761m³、年間有収水量は3,575,210m³（前年度比0.9%増）となりました。

収益的収入の主な収入である下水道使用料の調定額は下半期が226,787千円、決算額は448,000千円（前年度比3.6%増）となりました。また、一般会計からの負担金（雨水処理負担金と汚水処理負担金）は下半期が86,713千円、決算額は226,713千円（前年度比0.7%減）となりました。

収益的支出の主な支出として、業務費の多摩川上流流域下水道維持管理負担金は下半期が114,581千円、決算額は154,385千円（前年度比3.6%減）、減価償却費は下半期に全額執行し、決算額は646,486千円（前年度比0.6%増）、支払利息及び企業債取扱諸費は下半期が13,926千円、決算額は28,477千円（前年度比7.2%減）となりました。

資本的収入の主な収入として、企業債は下半期に全額執行し、決算額は306,300千円（前年度比221.7%増）となりました。

資本的支出の主な支出として、管渠整備費の長岡1号幹線布設工事業務の下半期が672,288千円、決算額は693,948千円（前年度比1,287.9%増）、企業債償還金は下半期が66,118千円、決算額は138,063千円（前年度比0.1%減）となりました。

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

収 入				支 出			
区分	予算額	決算額	執行率	区分	予算額	決算額	執行率
営業収益	532,676	527,376	99.0%	営業費用	1,123,464	1,059,332	94.3%
下水道使用料	453,329	448,000	98.8%	管渠費	142,154	97,965	68.9%
他会計負担金	79,171	79,171	100.0%	ポンプ場費	32,651	29,860	91.5%
その他営業収益	176	205	116.5%	業務費	213,505	195,446	91.5%
営業外収益	663,089	656,799	99.1%	総係費	88,577	88,648	100.1%
受取利息及び配当金	1	3	300.0%	減価償却費	646,577	646,486	100.0%
他会計負担金	147,542	147,542	100.0%	資産減耗費	0	927	—
補助金	21,051	21,051	100.0%	営業外費用	28,537	28,477	99.8%
長期前受金戻入	468,479	469,017	100.1%	支払利息及び企業債取扱諸費	28,537	28,477	99.8%
雑収益	1,535	1,430	93.2%	予備費	2,848	0	0.0%
消費税及び地方消費税還付金	24,481	17,756	72.5%	予備費	2,848	0	0.0%
合計	1,195,765	1,184,175	99.0%	合計	1,154,849	1,087,809	94.2%

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

収 入				支 出			
区分	予算額	決算額	執行率	区分	予算額	決算額	執行率
企業債	314,300	306,300	97.5%	建設改良費	831,208	820,631	98.7%
企業債	314,300	306,300	97.5%	管渠整備費	797,345	786,769	98.7%
他会計出資金	36,000	36,000	100.0%	多摩川上流流域下水道建設負担金	24,453	24,453	100.0%
他会計出資金	36,000	36,000	100.0%	多摩川上流流域下水道改良負担金	9,410	9,409	100.0%
補助金	436,156	436,156	100.0%	企業債償還金	138,064	138,063	100.0%
国庫補助金	292,151	292,151	100.0%	企業債償還金	138,064	138,063	100.0%
都補助金	144,005	144,005	100.0%				
負担金	2,217	2,594	117.0%				
受益者負担金	1,947	2,574	132.2%				
国庫負担金	270	20	7.4%				
合計	788,673	781,050	99.0%	合計	969,272	958,694	98.9%

令和6年度 瑞穂町下水道事業の予算の概要及び事業の経営方針

1 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	令和6年度	令和5年度	比較	区分	令和6年度	令和5年度	比較
営業収益	507,945	538,677	△ 30,732	営業費用	1,208,935	1,132,309	76,626
下水道使用料	447,269	453,329	△ 6,060	管渠費	225,618	140,112	85,506
他会計負担金	60,490	85,172	△ 24,682	ポンプ場費	37,025	36,433	592
その他営業収益	186	176	10	業務費	200,706	218,578	△ 17,872
営業外収益	801,646	667,729	133,917	総係費	98,859	92,892	5,967
受取利息及び配当金	2	1	1	減価償却費	646,727	644,294	2,433
他会計負担金	245,033	150,652	94,381	営業外費用	29,896	29,027	869
補助金	15,375	20,983	△ 5,608	支払利息及び企業債取扱諸費	29,896	29,027	869
長期前受金戻入	470,850	465,489	5,361	予備費	5,000	5,000	0
消費税及び地方消費税還付金	70,386	30,499	39,887	予備費	5,000	5,000	0
雑収益	0	105	皆減				
合計	1,309,591	1,206,406	103,185	合計	1,243,831	1,166,336	77,495

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	令和6年度	令和5年度	比較	区分	令和6年度	令和5年度	比較
企業債	708,100	427,300	280,800	建設改良費	1,929,064	796,244	1,132,820
企業債	708,100	427,300	280,800	管渠整備費	1,881,703	751,238	1,130,465
他会計出資金	8,636	36,000	△ 27,364	多摩川上流流域下水道建設負担金	36,898	34,414	2,484
他会計出資金	8,636	36,000	△ 27,364	多摩川上流流域下水道改良負担金	10,463	10,592	△ 129
補助金	1,140,777	305,342	835,435	企業債償還金	126,560	138,064	△ 11,504
国庫補助金	760,518	290,803	469,715	企業債償還金	126,560	138,064	△ 11,504
都補助金	380,259	14,539	365,720				
負担金	1,173	843	330				
受益者負担金	167	573	△ 406				
国庫負担金	1,006	270	736				
合計	1,858,686	769,485	1,089,201	合計	2,055,624	934,308	1,121,316

2 事業の経営方針

瑞穂町は、昭和49年度から下水道事業に着手し、令和5年度末時点で下水道普及率は、98.2%となっています。しかし、未普及地域への下水道整備、浸水被害への対応、施設の老朽化や耐震性など新たな課題に直面しています。このような中、将来にわたり安定的に公共下水道サービスを提供していくため、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、複式簿記・発生主義に基づく公営企業会計方式による経理を開始しました。

このことにより、経営の健全化、効率化を図りながら、さらなる経営基盤の強化を目指します。

令和6年度予算における取組は、下水道施設の維持管理（収益的収支）として、①ストックマネジメント（ポンプ場調査及び計画策定）、総合地震計画（3期）策定を行います。②管渠内清掃を行うとともに、異常箇所等の補修を行います。③伏越マンホール修繕設計業務等を行います。④駒形汚水中継ポンプ場のポンプの運転管理、施設設備等の点検を行います。⑤下水道プラン（経営戦略）改定業務を行います。

また、下水道施設整備（資本的収支）として、①衛生的で快適な生活環境を図るため、汚水管渠布設工事を行います。②安全安心な住民生活の実現に向けた雨水対策のため、長岡1号幹線布設工事を令和4年度から工期を1年延長し令和7年度まで4年間の継続事業として実施します。

引き続き、下水道事業の財源として、下水道使用料、補助金、下水道事業受益者負担金、企業債等の確保に努めた経営を行い、公営企業会計に基づいた、経営の効率化を図り、より一層の行政サービスの向上に努めます。